

2025年2月26日

大阪府議会議長 様

大正白稜高校、福泉高校の募集停止の撤回と 府立学校条例の抜本的見直し等を求める請願書

【請願趣旨】

府教育委員会は11月11日、大正白稜高校、福泉高校の2つの府立高校の2026年度からの募集停止を決定しましたが、これは、以下の点から極めて不当です。

第一に、子どもたちの学ぶ権利を保障するために設置されている公立高校の定員にはゆとりがあって当然であり、定員に満たないことを理由に廃校にするのは道理がありません。府教育委員会は、毎年、就学セーフティネットとして、公立・私立の募集定員の合計が進学予定者数を上回ることを確認しており、定員に満たない学校が出るのは制度上の必然です。

第二に、府教育委員会は、1学級40人、1学年7クラスを前提に統廃合が必要としていますが、不登校生が増加するなど一人一人により丁寧な教育が求められている今、少子化をチャンスと捉え、少人数学級の実施や学校規模の縮小など教育条件の改善を行うべきです。

第三に、大正白稜高校は2018年に二つの府立高校の統廃合でつくられた学校であり、わずか6年での廃校決定は不当です。泉尾工業高校もすでに廃校方針が決定されていることから、大正区では、3つあった府立高校がすべて廃校になり、区内に高校がなくなることとなります。これは、地域の教育環境を大きく低下させ、子どもたちの学ぶ権利を奪うとともに、避難所となっている学校が減ることで、防災上も地域の安全を大きく損なうものです。

なお、本請願と同趣旨の署名計7,431名分を2025年2月26日までに府教育委員会宛てに提出しており、1,138名分のオンライン署名も集まっています。

以上のことから下記について強く要請します。

【請願事項】

1. 大正白稜高校、福泉高校の2府立高校の募集停止決定を撤回すること。
2. 「3年連続して定員に満たない高校は再編整備の対象」としている大阪府立学校条例を抜本的に見直し、「定員」を理由とした高校つぶしを行わないこと。
3. 少子化をチャンスと捉え、少人数学級の実現、学校規模の縮小など、すべての府立高校の教育条件を改善すること。

【紹介議員】 ※別紙の通り

【請願者】

住所	大阪市天王寺区東高津町7-11-707
団体名	大阪の高校を守る会
代表者	奥野喜久夫 ※他209団体